

【評価対象年度 2020年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市七国山ファーマーズセンター		
施設概要	【所在地】 町田市野津田町3497-1 【開設年月】 1993年9月 【開館日時】 火曜日～日曜日/9時～17時(11～1月/9時から16時30分) 【施設面積】 326.16㎡ 【建物内容】 休憩室(66.9㎡)、売店(25.92㎡)、事務室(19.44㎡)、講習室(60.48㎡) 【建物構造】 木造 2階建 七国山ファーマーズセンターは、市民の方が自然や農業とふれあうことのできる拠点施設で、七国山周辺を散歩する際の休憩所として利用することができる。建物内には、トイレや休憩室、講習室が設けられており、野菜の種や肥料などを販売する売店がある。		
設置目的	市民の農とのふれあいの場及び地域交流の場を提供するため。		
設置根拠法令・条例	町田市七国山ファーマーズセンター条例		
所管部課	経済観光部農業振興課	問合せ先	042-724-2166
施設ホームページURL	https://www.city.machida.tokyo.jp/kanko/sangyo/nougyo/shimintonou/agri01.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	町田市農業協同組合	法人番号	2012305000358
指定管理者所在地	町田市森野2-29-15		
指定期間	2019年4月1日～2022年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)運営業務…受付、見学者整理、館内案内、講習室施設の貸し出し等の業務を行う。 (2)施設の維持管理業務…施設の修繕や保守点検、清掃、警備等の業務を行う。 (3)利用者に対するサービス提供事業の実施…農園利用者等への農作業の指導を行う。 (4)その他の業務…市への報告業務や利用者からのアンケートの収集を行う。		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
農に関するイベントの開催	2021年度	コスモスの摘み取り体験を行った。研修農園生に対する野菜栽培指導は、新型コロナの影響で中止した。
施設内の写真等展示替え	2021年度	2月にJA町田市フォトクラブに依頼し変更予定だったが、緊急事態宣言中のため延期した。
地場産農産物を使用した親子料理教室の開催	2021年度	3月に行う予定だったがコロナ状況を鑑み中止した。

3. 昨年度の課題

内容	【2020年度評価委員会指摘事項】アンケートについて、施設の設置目的に沿った内容で、設問の意図が正確に伝わるアンケートとなるよう、項目を見直す必要がある。また、より魅力ある施設にするために、アンケートの回収枚数を増やし、多くの方から意見を聞く必要がある。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>B</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	ここ数年、利用者数が減少傾向にあることに関しては、選定時の提案内容の実施や、他施設との連携企画を検討するなどして、利用者数増加につなげてほしい。新型コロナウイルスの影響で休館や予定していた講習会等を中止せざるをえない状況であったが、出来る範囲で工夫してイベントを実施していた。 施設の休館期間(3月2日～6月8日) 【2020年度評価委員会指摘事項】 次年度からの運用を目指して、アンケート項目の見直しに着手している。今後、さらに設問を精査する必要がある。2020年度のアンケート回収枚数は99枚で、2019年度よりも17枚増加した。引き続き、魅力ある施設にするために、アンケートの回収に努められたい。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	薬師池公園四季彩の杜がオープンし、周辺の散歩者は増加傾向にあるが、施設の来館者は減少している。参加者の安全面を考慮し講習会等を中止し、会館利用もコロナ対策の為大人数での利用制限を要請したことや、緊急事態宣言の発令によって施設が長期間休館したことが影響しているものと考えられる。	

## 【評価対象年度 2020年度】

### 5. サービスの質に関する評価

#### 【利用者アンケート調査】

調査概要	<b>【調査期間】</b> 2020年4月～2021年3月 <b>【回収枚数】</b> 99枚 <b>【調査方法】</b> 設置方式
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A: 80%以上 B: 50%～80%未満 C: 50%未満	85%	93.4%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	85	85	85	---	---
実績値	93.9	93.4			

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
講習室利用数	A: 100組以上 B: 50組～99組以下 C: 49組以下	90組	35組	C	
指定期間内における実績(単位: 組)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	90	90	---	---
実績値	69	35			

指標3	目標	目標	結果	評価	
施設利用者数	A: 15,000人以上 B: 9,000人～14,999人以下 C: 8,999人以下	12,000人	5,113人	C	
指定期間内における実績(単位: 人)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	12,000	12,000	12,000	---	---
実績値	6,901	5,113			

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
<b>B</b>	新型コロナの影響による施設の休館(3月2日～6月8日)やイベント中止等のため、講習室利用数・施設利用数ともに昨年度から減少しているが、コロナ禍においても出来る範囲で工夫しながら、利用者増加に向けた取り組みを行っていた。利用者満足度は目標値を達成している。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

## 【評価対象年度 2020年度】

### 6. 業務履行状況の確認

#### (1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者に対し平等・公平な対応がおこなわれているか	利用者に親切で平等・公平な対応を行うこと。	利用者に親切で平等・公平な対応を行っている事をヒアリングから確認。	適
	一般利用者の施設利用は妨げられていないか	利用の妨げになるような事案が発生しないよう常に気配りすること。	団体利用がある際も一般利用の妨げにならないよう気配りしている事をヒアリングから確認。	適
施設の運営方針・管理方針	設備機器(消防・防災・空調等)の安全管理・保守点検等	定期点検を実施すること。	業者による定期点検を実施している事を事業報告書から確認。	適
	施設と法人(団体)本部との間で十分な連絡や調整がなされているか	本部職員が定期巡回をしており、連絡・調整を行うこと。	本部職員が月に数回来館し連絡・調整を行っている事を事業報告書から確認。	適
	物品の管理は適切か(協定書等による取り決めの範囲において)	物品を丁寧に取り扱い、管理を適切に行うこと。	物品は丁寧に取り扱い、適切に管理している。	適
	清掃業務等が適切に行われているか	施設を清潔に保つこと。	毎日の職員の清掃に加え、業者による清掃も行われており、施設を清潔に保っている事を事業報告書から確認。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護のための体制	個人情報保護方針を制定すること。	個人情報保護方針を制定している。	適
	個人情報の管理	施錠した保管庫に保管すること。	個人情報に関わるものは施錠できる保管庫で管理している。	適
苦情対応	苦情、要望等の情報の職員間の共有と対策	職員間で情報共有し、対策案を出すこと。	職員間で情報共有し対策案を出す体制がある。	適
	苦情、要望等の市への報告	市職員に苦情、要望を迅速に伝え、月次報告にも記載すること。	市職員へ迅速に伝える体制がある。	適
危機管理	危険防止や不良箇所の早期発見に努めているか	施設の内外を毎日簡易点検を実施すること。	施設内外の見回りを毎日行っている事を事業報告書から確認。	適
	事故発生時の適切な対応	緊急時の連絡体制を職員間で周知徹底すること。	連絡網を作成し、職員間で周知徹底されている。	適
人的安定性	職員間の情報共有	職員間での定期的な情報共有が行われていること。	本部職員が月に数回来館し情報共有が行われている事を事業報告書から確認。	適
	職員の勤務条件は適切か	協定書の通り適切に勤務していること。	協定書の通り勤務している事を事業報告書から確認。	適
管理経費の縮減	指定管理に関する経費の適正使用	最終的な予算総額に対し支出全体を収めていること。	最終的な予算総額に対し支出全体を収めている。	適
	利用者に影響を及ぼさない範囲で経費削減ができていないか	費用対効果を吟味し経費を支出していること。	節電など利用者に影響を及ぼさない範囲で経費削減している。	適
地域貢献	地域交流の場の創出	地域交流の場に利用されること。	地域の農業団体や自治会が交流の場として利用している。	適
	地域、関係機関、近隣住民と良好な関係を保つ	トイレの開放、路上駐車防止をすること。	トイレの開放、路上駐車防止に努めている。	適

【評価対象年度 2020年度】

(2) 業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2021年2月24日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2021年2月24日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	要求水準を満たしていることを、ヒアリング及び月次報告書、現地確認にて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	4,511	4,163	4,511	4,204	4,511					
	利用料金	-	-	-	-	-					
	自主事業	0	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0	0					
	計	4,511	4,163	4,511	4,204	4,511	0	0	0	0	0
支出	人件費	2,400	1,878	2,400	1,895	2,400					
	維持管理経費	2,111	2,285	2,111	2,309	2,111					
	自主事業	0	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0	0					
	計	4,511	4,163	4,511	4,204	4,511	0	0	0	0	0
総計(収入-支出)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	33.1	27.8			
負債比率	892.0	909.0			

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	不適切な支出がなく、予算総額に対し支出全体が収まっており、適切な財務状況である。また、大きな修繕がなく、指定管理料返還金が生じた。 指定管理者本部の負債比率が高くなっているのは、信用事業を行っているためである。